

クラス番号	626	担当教員名	小松 理佐子
テーマ	過疎地域の福祉政策－「平成の大合併」の検証－		
著書・論文 研究課題等	研究課題（関心をもっていること）： ソーシャルワーカーは地域再生のために何ができるか？ 著書：『生活支援の社会福祉学』（共）有斐閣、 『協働と参加による地域福祉計画』（共）ミネルヴァ書房、など		

ゼミナール概要

キーワード：過疎地域、地域再生、市町村合併、地域福祉計画、地域生活支援

【目的】

このゼミでは、過疎化の進行する地域で暮らしている人が、その地域に暮らし続けることができるようにするにはどのような支援をすればよいかについて、政策という視点から研究します。

過疎地域の問題は、「平成の大合併」を機に新たな局面を迎えています。大規模な合併の結果、一つの自治体の中での中心部への人口の移動が起き、政令指定都市の中にも過疎化の進行する地域がみられるようになりました。過疎化の進行する地域では、買い物をする店や病院などがなくなり、日常生活に不可欠なサービスを利用することが難しくなっているところが増えています。こうした中で、車を運転できない高齢者などが、その地域に暮らし続けられなくなるという事態が起きています。

このゼミでは、こうした地域で暮らす人々の生活をどうしたら支えることができるかを考えます。

【内容】

市町村合併によって過疎が進んだ地域に対して、それぞれの自治体がどのような政策を進めているかについて、文献や資料をもとにして学びます。その上で、「平成の大合併」によって合併した自治体（岐阜県高山市を予定）の実態について調査研究を行います。

【授業計画】

3年次の前期には、市町村合併についての基礎知識や全国的な動向について文献や統計資料などをもとに学習します。また、資料をもとに調査対象地域について調べ、調査計画を立てます。夏休みから後期の前半にかけて、実際に合併した地域に出かけ、住民へのインタビュー、行政や社会福祉協議会へのヒアリング調査などを行いながら、実態把握（ニーズ把握）を行う予定です。後期の後半の授業では、地域のニーズを充足するための政策を考え、対象地域の方とそれについての意見交換をする予定です。

4年次には、各自の関心に基づいてテーマを設定して研究し、卒業論文としてまとめます。

【テキスト】

『地域再生の条件』本間義人著、岩波新書 ほか ※その他は、授業中に提示します。

担当教員からのメッセージ



高山市は、高山祭りをはじめとする古くからのお祭りが今も盛んに行われており、歴史や文化を大切にしている地域です。名物は、みたらしだんご、朴葉みそ、高山ラーメン、飛騨牛…です。温泉もあります。楽しくゼミをやりたいと思う人を募集します。